



ユーザ デバイス プロファイルの削除

ここでは、ユーザ デバイス プロファイル (UDP) のグループを Cisco Unified Communications Manager データベースから削除する手順を説明します。

次の 2 つの方法を使用して既存の電話機レコードを検索することができます。

- 「クエリーを使用した UDP の削除」 (P.42-1)
- 「カスタム ファイルを使用した UDP の削除」 (P.42-3)

クエリーを使用した UDP の削除

削除するレコードを探すには、クエリー フィルタを定義する必要があります。Cisco Unified Communications Manager から UDP を削除する手順は、次のとおりです。

手順

- ステップ 1** [一括管理(Bulk Administration)] > [ユーザデバイスプロファイル (User Device Profile)] > [UDP の削除 (Delete User Device Profiles)] > [クエリー (Query)] の順に選択します。
[削除するデバイスプロファイルの検索と一覧表示 (Find and List Device Profiles To Delete)] ウィンドウが表示されます。
- ステップ 2** [検索対象 (Find)] ドロップダウン リスト ボックスで、次のいずれかのオプションを選択します。
 - [ユーザ (User)]
 - [自動生成 (Autogenerated)]
 - [すべて (All)]
- ステップ 3** 最初の [デバイスプロファイル、検索条件 (Device Profiles where)] ドロップダウン リスト ボックスで、次のいずれかの検索条件を選択します。
 - [プロファイル名 (Profile Name)]
 - [説明 (Description)]
 - [デバイスタイプ (Device Type)]
- ステップ 4** 2 番目の [デバイスプロファイル、検索条件 (Device Profiles where)] ドロップダウン リスト ボックスで、次のいずれかの検索条件を選択します。
 - [が次の文字列で始まる (begins with)]
 - [が次の文字列を含む (contains)]
 - [が次の文字列と等しい (is exactly)]

- [が次の文字列で終わる (ends with)]
- [が空である (is empty)]
- [が空ではない (is not empty)]

ステップ 5 必要に応じて、適切な検索テキストを指定します。



ヒント データベースに登録されているすべての UDP を検索するには、検索テキストを入力せずに [検索 (Find)] をクリックします。

ステップ 6 クエリーをさらに定義する場合や、複数のフィルタを追加する場合は、[絞り込み (Search Within Results)] チェックボックスをオンにし、ドロップダウン ボックスから [AND] または [OR] を選択して、ステップ 2 ~ 5 を繰り返します。

ステップ 7 [検索 (Find)] をクリックします。

検索されたテンプレートのリストが、次の項目別に表示されます。

- [デバイスプロファイル名 (Device Profile Name)]
- [説明 (Description)]
- [デバイスタイプ (Device Type)]
- [プロファイルタイプ (Profile Type)]

ステップ 8 [ジョブ情報 (Job Information)] 領域に、ジョブの説明を入力します。

ステップ 9 [今すぐ実行 (Run Immediately)] オプション ボタンをクリックして UDP レコードを即座に削除するか、[後で実行 (Run Later)] をクリックして後で削除します。

ステップ 10 [送信 (Submit)] をクリックして、電話機レコードを削除するジョブを作成します。

ステップ 11 [一括管理 (Bulk Administration)] メイン メニューの [ジョブスケジューラ (Job Scheduler)] オプションを使用して、このジョブのスケジュールやアクティブ化を行います。

ジョブの詳細については、第 82 章「ジョブのスケジュール」を参照してください。

ログ ファイルの詳細については、「BAT ログ ファイル」(P.83-3) を参照してください。



注意

クエリー テキスト ボックスに情報を何も入力しないと、すべての UDP レコードが削除されます。削除は最終的な操作なので、削除したレコードは復元できません。

追加情報

「関連項目」(P.42-4) を参照してください。

カスタム ファイルを使用した UDP の削除

テキスト エディタを使用して、削除する UDP のカスタム ファイルを作成することができます。同一のカスタム ファイルの中に、デバイス プロファイル名、デバイス プロファイルの説明、電話番号を含めることができますが、複数の電話番号を同じファイルに入れることはできません。複数のファイルを作成する必要があります。1 つのファイルには、デバイス名と MAC アドレスを含め、もう 1 つのファイルには電話番号を含めます。



(注) シェアドラインを持つ UDP は、カスタム ファイルを使用して削除することはできません。

始める前に

- 削除する UDP について次の詳細のいずれかを記載するテキスト ファイルを作成します。
 - プロファイル名
 - プロファイルの説明
 - 電話番号
- テキスト ファイルで 1 行に 1 項目ずつ配置します。
- カスタム ファイルを Cisco Unified Communications Manager サーバの最初のノードにアップロードします。詳細については、「[ファイルのアップロード](#)」(P.2-3) を参照してください。

カスタム ファイルに記載されている UDP を削除する手順は、次のとおりです。



(注) 削除トランザクション用に bat.xlt として作成したトランザクション ファイルを挿入またはエクスポートしないでください。代わりに、削除が必要な UDP レコードの詳細情報が設定されたカスタム ファイルを作成する必要があります。削除トランザクションには、このファイルしか使用しないでください。このカスタム削除ファイルには、ヘッダーを指定する必要があります。名前、説明、電話番号の値を入力します。

手順

- ステップ 1** [一括管理(Bulk Administration)] > [ユーザデバイスプロファイル(User Device Profiles)] > [UDP の削除(Delete User Device Profiles)] > [カスタムファイル(Custom File)] の順に選択します。
[ユーザデバイスプロファイルの削除(カスタム)(Delete User Device Profiles Custom Configuration)] ウィンドウが表示されます。
- ステップ 2** [削除対象(Delete)] ドロップダウン リスト ボックスで、次のいずれかのオプションを選択します。
 - [ユーザ(User)]
 - [自動生成(Autogenerated)]
 - [すべて(All)]
- ステップ 3** [デバイスプロファイル、検索条件(Device Profiles where)] ドロップダウン リスト ボックスで、作成したカスタム ファイルのタイプを次のいずれかの条件から選択します。
 - [プロファイル名(Profile Name)]
 - [プロファイルの説明(Profile Description)]
 - [電話番号(Directory Number)]
- ステップ 4** カスタム ファイルのリストで、この削除用のカスタム ファイルのファイル名を選択します。

■ 関連項目

- ステップ 5** [検索 (Find)] をクリックします。
- ステップ 6** 検索条件に一致する UDP のリストが表示されます。
- ステップ 7** [送信 (Submit)] をクリックして、UDP を削除するジョブを作成します。
- [一括管理 (Bulk Administration)] メイン メニューの [ジョブスケジューラ (Job Scheduler)] オプションを使用して、このジョブのスケジュールやアクティブ化を行います。ジョブの詳細については、[第 82 章「ジョブのスケジュール」](#)を参照してください。
- ログ ファイルの詳細については、「[BAT ログ ファイル \(P.83-3\)](#)」を参照してください。
-

追加情報

「[関連項目 \(P.42-4\)](#)」を参照してください。

関連項目

- 「[クエリーを使用した UDP の削除 \(P.42-1\)](#)」
- 「[カスタム ファイルを使用した UDP の削除 \(P.42-3\)](#)」
- 「[ファイルのアップロード \(P.2-3\)](#)」
- 「[ジョブのスケジュール \(P.82-1\)](#)」
- 「[TAPS の概要 \(P.80-2\)](#)」
- 「[BAT ログ ファイル \(P.83-3\)](#)」